

# ヨコハマ・ウッドストロープロジェクト

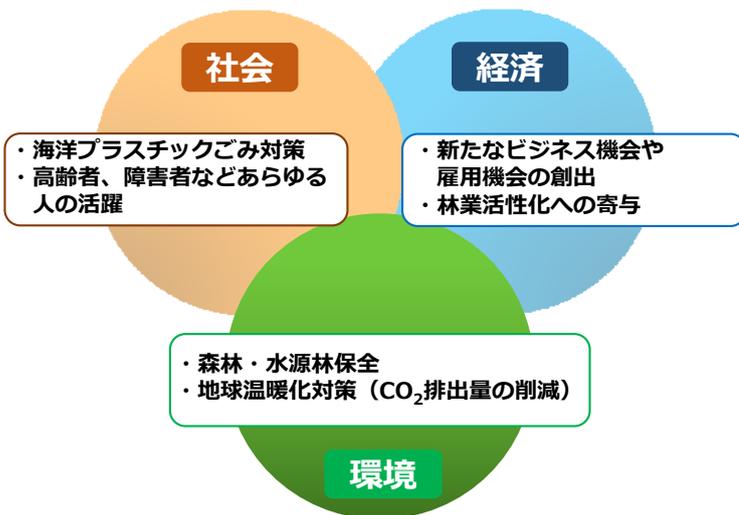
## プロジェクトの概要

ヨコハマSDGsデザインセンターでは、(株)アキュラホーム等と連携し、大気中のCO<sub>2</sub>を吸収した木材を原料とする「木製ストロー」の普及を通じて、脱炭素化や海洋におけるプラスチックごみ問題、森林環境等の意識啓発に取り組んでいます。

今後、市内で開催されるイベント等での配布による普及啓発のほか、水源地である道志村の間伐材の原料利用、市内事業者による生産・利用拡大に向けた取組を進め、地産地消を目指します。



## 環境・経済・社会面で期待される効果



### ○環境面

間伐材等を原材料とするため、森林の適正管理の観点から森林環境保全や水源林保全につながるほか、木材は成長過程でCO<sub>2</sub>を吸収するため、地球温暖化対策（カーボンニュートラル）にもつながります。

### ○経済面

原材料製造に関する新たなビジネス機会・雇用創出や、間伐材の利用促進による林業の活性化への貢献も期待できます。

### ○社会面

木材を利用することで、海洋で容易に自然分解されず、社会課題となっている海洋プラスチックごみ（マイクロプラスチックなど）対策への貢献が期待されるほか、製造を高齢者や障害者の方々が担うことで、あらゆる人が活躍できる社会の実現への貢献が期待されます。

## SDGs・ヨコハマSDGsデザインセンター



### 持続可能な開発目標

SDGsとは  
(エス・ディ・ジーズ)

「Sustainable Development Goals」の略称。国連サミットで採択された世界共通の国際目標です。

2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」は開発途上国の開発に関する課題にとどまらず、世界全体の経済・社会及び環境の3側面を不可分に統合する取組として作成されました。2030アジェンダは先進国と開発途上国がともに取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標として採択され、持続可能な開発目標「SDGs (Sustainable Development Goals)」の17ゴール（目標）と169のターゲットが掲げられています。

### ヨコハマSDGs デザインセンター



ヨコハマSDGsデザインセンターは、パイロットプロジェクト（試行的取組）を通じて、企業や大学、地域などのニーズ（地域課題等）とシーズ（企業技術・知見等）を分野・組織横断的につなぎ、様々なステークホルダーと連携し、環境・経済・社会的課題の統合的解決を目指す“目的志向・実践型中間支援組織”です。

